

こども部会

1. 今年度の活動目標・目的（前年度から引き続き）

- ・学齢児の発達支援の現状と課題の整理、システム図の作成
- ・当事者の声・ニーズから地域の整備を考える

2. 部会開催状況

- |                       |         |
|-----------------------|---------|
| ① 6月17日（金）15時30分～17時  | 参加者 16名 |
| ② 8月26日（金）15時30分～17時  | 参加者 16名 |
| ③ 10月20日（木）15時30分～17時 | 参加者 15名 |
| ④ 1月10日（火）15時30分～17時  | 参加者 15名 |

3. 部会の取り組み、実施内容

取組	実施内容
学齢児の発達支援について、支援機関の一覧・ガイドマップ(仮)の作成	学齢児の発達支援システムの大府市における状況を整理し、マップにすることで現状把握を行う。 →「大府市 支援が必要な子どものためのサービスマップ(学齢期・成人期)」を作成。 大府市のHPにマップを掲載、施設の基本情報の閲覧へつながるようにし、そこからさらに各事業所のHPのアドレスを掲載していく。
第3期障がい児福祉計画策定に向けてアンケート実施・課題の共有	令和5年度の第3期障がい児福祉計画策定を見据えてアンケートを実施。 【アンケート】 (対象) ①障害児通所支援等を利用する児童 ②障害児通所支援等を利用していない障害者手帳所持者 ③医療的ケア児 (多数あった記載) ・災害に関する不安 ・短期入所等、宿泊を伴う支援について ・就学に関する悩み等について
人材育成(研修)	人材育成～当事者・当事者家族の思いを知る～を目的に、部会員と部会員が所属している職員を対象に研修を実施。 20代前半障がい者のご家族(母)2名に講師として登壇頂く。お一人は幼少期から支援やサービスを利用されてきた方、もうお一人はサービス等の利用なく成人を迎え現在支援機関とつながりを持ち始めた方に、出生からのご本人の

	状況やご家族としての思い、悩んだ事今感じる事等々についてお話頂く。ハイブリット方式で実施。 「学齢期を振り返って」 講師 T村 K美様 / Y田 Y子様
--	--

#### 4. 成果

- ・「大府市 支援が必要な子どものためのサービスマップ(学齢期・成人期)」を作成することで、学齢期の障がいのある子どもへの大府市の支援機関や社会資源の状況を整理し、可視化することができた。また、大府市 HP(子ども未来課のページ)に掲載し、施設の情報を閲覧できる画面に紐づけされるため、大府市の事業所の情報収集・把握がしやすくなる。
- ・前回の障がい児福祉計画策定に向けたアンケートは限られた期間内での実施だったこともあり、アンケート対象者を絞って行った。今回はアンケート内容についても時間を十分に確保して意見交換をし、またアンケート送付対象者も広げて実施することができた。  
 アンケート結果からは、部会内で事前に課題ではないかと想定していたものとは違う結果となった点もあり、現在の当事者の実情把握・ニーズ把握につながった。
- ・人材育成として行っている研修は当事者ご家族の思いを聞く貴重な機会であり、当事者の方の思いを知るとともに、支援者としての気づきや今後の支援へのつながりを意識できる時間となった。次年度以降もこのような研修を全員が希望する研修となった。

#### 5. 課題（次年度以降の実施事項）

- ①「大府市 支援が必要な子どものためのサービスマップ(乳幼児期)」の作成  
 →学齢期・成人期のサービスマップを作る過程の意見交換で、こども全体の支援の整理、乳幼児期も含めた見える化についても必要性が話され、次年度「乳幼児期」の支援マップの作製を進めていきたい。
- ②第3期障がい児福祉計画(案)策定
- ③令和4年度実施したアンケート内容の精査、地域課題の抽出  
 →今年度はアンケートの実施とアンケート結果の共有までを行ったため、改善や対応が必要な地域課題の抽出を行う。
- ④人材育成  
 当事者からの話を聞く機会を設ける  
 テーマ「きょうだい児の思い」(予定)